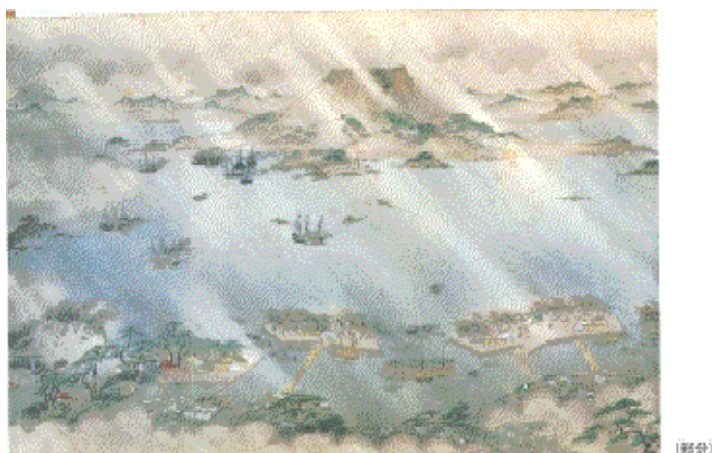


英艦入港戦争図 一薩英戦争絵巻一

【所在地】鹿児島市吉野町 9698 - 1 尚古集成館

【種別】県指定有形文化財（歴史資料）

【指定年月日】平成 9 年 4 月 21 日



文久 2 (1862) 年，横浜近郊の生麦村で薩摩藩士によるイギリス人殺傷事件（生麦事件）が発生した。イギリス側は犯人処刑と賠償金支払を薩摩藩に要求したが，薩摩藩はイギリス人に非があったとしてこれを拒否した。このため翌文久 3 年イギリス公使ニールは，7 艘の軍艦を率いて鹿児島に来航し，再度薩摩藩に要求を突き付けた。しかし，交渉は進展せず，7 月 2 日と 3 日の両日，薩摩藩の砲台とイギリス艦隊は激しい砲撃戦を交えた。世にいう「薩英戦争」である。

この英艦入港戦争図は，6 月 27 日のイギリス艦隊の鹿児島湾侵入から，7 月 2 日のイギリス艦隊による薩摩藩汽船のだ捕・開戦，3 日の戦闘状況，6 日のイギリス艦隊撤退までを，上下 2 巻，11 の場面に分けて描いたものである。重富沖の薩摩藩汽船だ捕の 2 場面以外の 9 場面は，いずれも鹿児島城下上空から桜島側を俯瞰する構図で，刻々と推移する状況を見比べることができる。薩摩側の被害が軽微であったかのように描かれているものの，イギリス艦隊の位置や戦闘の状況は正確で，歴史的資料として貴重である。

作者は，薩摩藩の御用絵師柳田竜雪と伝えられている。この所伝にふさわしく，硬く謹直な感じの狩野派の特徴とともに，清澄な色調で対象を細かに描くという竜雪の個性もよくあらわれている。また，この絵巻は，藩の御用絵師の作品としては最大級のもので美術的価値も高い。